

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第10号(週報・月報合併号)

2011年第10週(3月7日~3月13日)、月報2月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

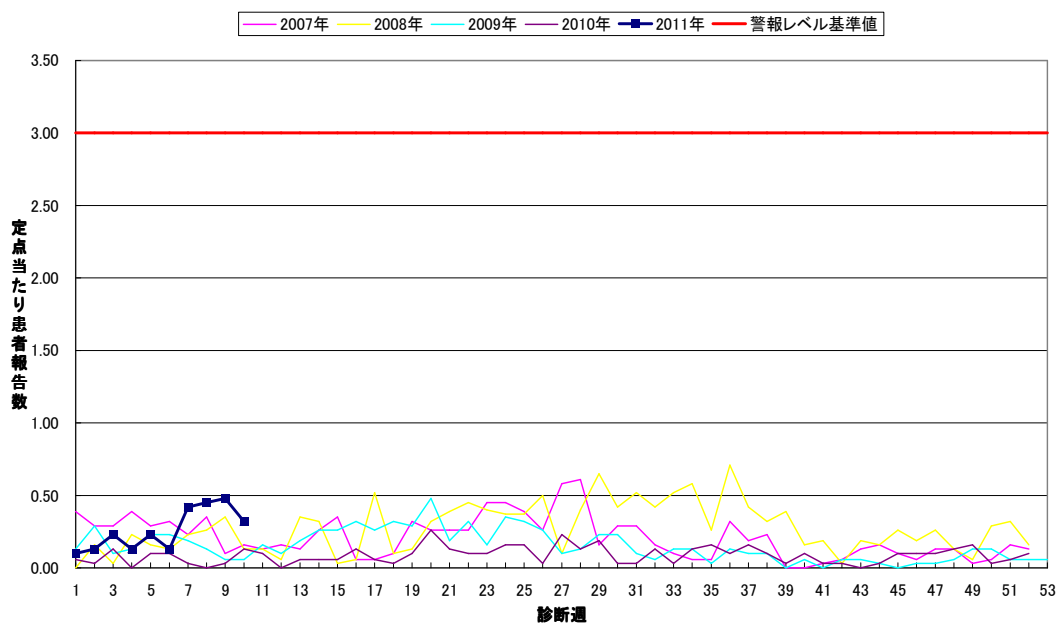
－ 咽頭結膜熱 : 御坊保健所管内で流行中! －

御坊保健所管内の定点当たり患者報告数は3.00人(前週:4.50人)で、4週連続で警報レベル基準値(3.0人)を超えています。その他の保健所管内の患者報告数は、目立って多くありません。

県全体の患者報告数は0.32人(前週:0.48人)と若干減少しましたが、過去5年間の同時期と比較して多い状況です。

咽頭結膜熱の詳細な説明はこちら (http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_14.html)

咽頭結膜熱(和歌山県全体)



－ 感染性胃腸炎 : 県全体の患者報告数は6週連続で増加!! －

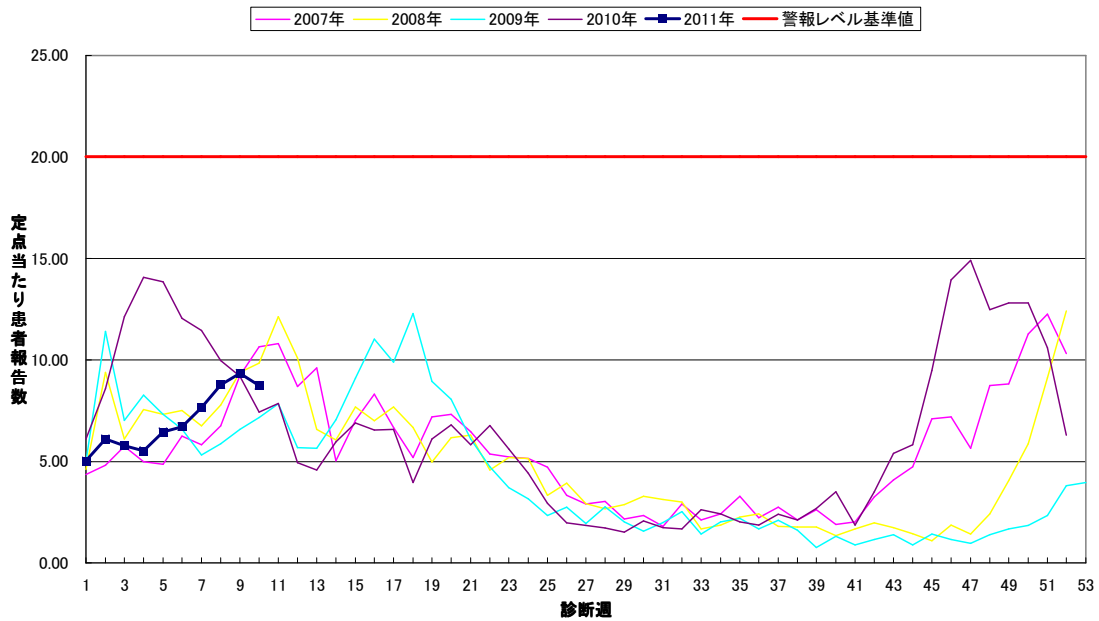
県全体の定点当たり患者報告数は、8.74人(前週:9.35人)と減少しました。

保健所別では、和歌山市、海南、岩出保健所管内の患者報告数がそれぞれ、12.78人(前週:15.44人)、20.00人(前週:11.00人)、10.00人(前週:13.50人)と多くなっています。

この時期に増加する感染性胃腸炎は、ロタウイルスが原因であることが多いといわれています。ロタウイルスの予防は、ノロウイルスと同様に流行期の手洗いと患者との濃厚な接触を避けることが重要です。

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人(終息基準値:12.0人)です。(定点当たり患者報告数)注意報レベル基準値は設定されていません。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



— インフルエンザ：橋本保健所管内で注意報レベル基準値を超える！ —

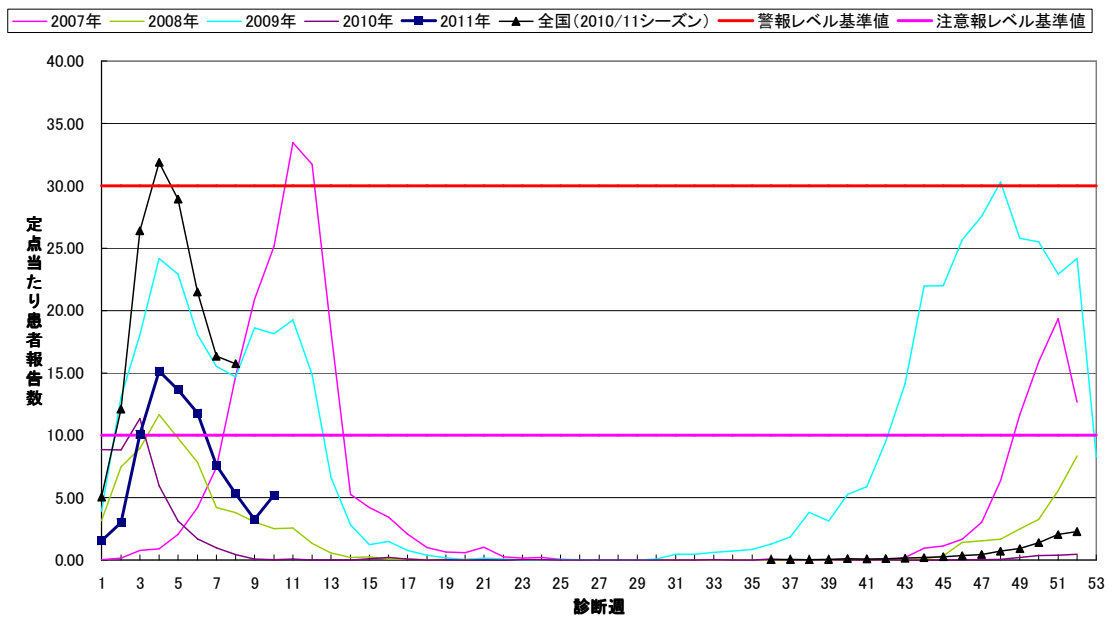
県全体の定点当たり患者報告数は、5.22人（前週：3.28人）と増加しました。

保健所別では、橋本保健所管内の定点当たり患者報告数が、14.17人（前週：7.67人）と増加し、注意報レベル基準値を超えました。

国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、全国の第8週の定点当たり患者報告数は、15.75人で、過去5年間の同時期と比較して多くなっています。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人（終息基準値：10.0人）、注意報が10.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

インフルエンザ(和歌山県全体)



－ **流行性耳下腺炎** ： **御坊保健所管内で注意報レベル基準値を超える！** －

県全体の定点当たり患者報告数は、1.19人（前週：1.23人）と横ばいで推移しています。

保健所別では、御坊保健所管内の患者報告数が、3.00人（前週：1.00人）と最も多くなっており、注意報レベル基準値を超えています。

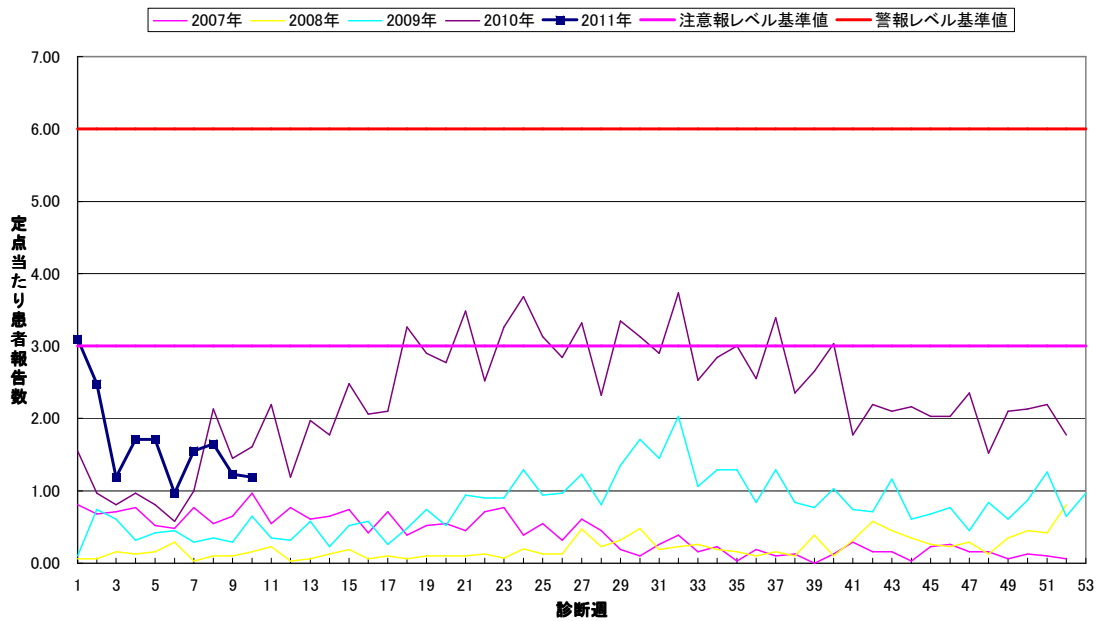
国が発行している感染症週報第8号（2月21日～2月27日）では、全国の定点当たり患者報告数は0.94人となっています。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）の詳しい説明はこちら

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html

流行性耳下腺炎(和歌山県全体)



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 5名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：報告はありませんでした。
 - 5類感染症：梅毒 1名

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	77
E型肝炎	1
A型肝炎	1
つつが虫病	4
アメーバ赤痢	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
後天性免疫不全症候群	1
梅毒	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 咽頭結膜熱（御坊保健所管内）
- 感染性胃腸炎（海南保健所管内）

注意報レベル

- インフルエンザ（橋本保健所管内）
- 流行耳下腺炎（御坊保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	261	1	-	6	10	13	19	14	18	33	35	28	62	1	4	9	3	1	4	-	-
	定当	5.22	0.02	-	0.12	0.2	0.26	0.38	0.28	0.36	0.66	0.7	0.56	1.24	0.02	0.08	0.18	0.06	0.02	0.08	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29
RSウイルス感染症	報告	10	4	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.32	0.13	0.06	0.1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	10	-	-	-	-	3	4	-	-	1	-	-	1	-	1
	定当	0.32	-	-	-	-	0.1	0.13	-	-	0.03	-	-	0.03	-	0.03
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	63	-	1	7	6	7	7	7	10	5	6	1	6	-	-
	定当	2.03	-	0.03	0.23	0.19	0.23	0.23	0.23	0.32	0.16	0.19	0.03	0.19	-	-
感染性胃腸炎	報告	271	4	17	45	37	24	26	25	21	14	11	9	31	2	5
	定当	8.74	0.13	0.55	1.45	1.19	0.77	0.84	0.81	0.68	0.45	0.35	0.29	1	0.06	0.16
水痘	報告	37	-	4	10	7	3	4	4	1	2	1	-	1	-	-
	定当	1.19	-	0.13	0.32	0.23	0.1	0.13	0.13	0.03	0.06	0.03	-	0.03	-	-
手足口病	報告	15	-	1	1	4	2	3	2	-	1	1	-	-	-	-
	定当	0.48	-	0.03	0.03	0.13	0.06	0.1	0.06	-	0.03	0.03	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	16	-	1	-	-	5	2	3	2	1	2	-	-	-	-
	定当	0.52	-	0.03	-	-	0.16	0.06	0.1	0.06	0.03	0.06	-	-	-	-
突発性発疹	報告	15	-	5	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.48	-	0.16	0.26	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	37	-	-	1	2	6	6	2	6	1	-	6	7	-	-
	定当	1.19	-	-	0.03	0.06	0.19	0.19	0.06	0.19	0.03	-	0.19	0.23	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本支所
インフルエンザ	報告	71	8	32	85	34	5	14	12	-
	定当	4.73	2.67	5.33	14.17	6.8	1.67	2	4	-
RSウイルス感染症	報告	3	-	4	-	-	3	-	-	-
	定当	0.33	-	1	-	-	1.5	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	3	-	-	6	-	-	-
	定当	0.11	-	0.75	-	-	3	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	39	-	8	4	-	4	7	1	-
	定当	4.33	-	2	1	-	2	1.75	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	115	40	40	11	11	16	28	10	-
	定当	12.78	20	10	2.75	3.67	8	7	5	-
水痘	報告	16	-	4	6	1	1	7	2	-
	定当	1.78	-	1	1.5	0.33	0.5	1.75	1	-
手足口病	報告	13	1	-	1	-	-	-	-	-
	定当	1.44	0.5	-	0.25	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	13	-	-	2	1	-	-	-	-
	定当	1.44	-	-	0.5	0.33	-	-	-	-
突発性発疹	報告	5	-	-	2	4	1	1	2	-
	定当	0.56	-	-	0.5	1.33	0.5	0.25	1	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	12	3	5	5	6	6	-	-	-
	定当	1.33	1.5	1.25	1.25	2	3	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	2	-	1	…
	定当	-	…	-	-	-	2	-	1	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

2月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(2.09人)が最も多く、次いでペニシリン耐性肺炎球菌感染症(0.27人)でした。また、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約61%を占めています。なお、2月から薬剤耐性アシネトバクター感染症が報告対象疾病に追加されました。

【2月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	2	2	14
	定当	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.36	0.18	0.18	1.27
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1
	定当	0.27	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	0.09	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2011 年第 10 号

発行日：平成 23 年 3 月 17 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。